

## 大洞の里山 「まちづくり」のお手本です

—京町まちづくり協議会会長 藤沢 眞一さん



大洞の里山つくり会の皆さんによる手づくりの里山、眩しいばかりの新緑の中で開かれた「山菜てんぷらパーティー」に参加する機会をいただきました。

「里山づくりで まちを元気に！」を合言葉に、荒廃した山林の整備、樹木の間伐などに取り組み、今では一周3kmほどの遊歩道を中心に、起点となる「いこいの広場」と名づけられた素晴らしい広場が出来ていました。

中腹に発見された湧水を利用した水飲み場、その先の湿地帯のかわいらしい池にはホトケドジョウが、貴重な植物も観察できるように整備されていました。

広場はイベント会場にもなっており、秋には「里山まつり」が開催されるとか。遊歩道脇の樹木には樹名板が取り付けられ、自然を大切にしながら、会員皆さんが個人の時間・技能・労力を持ち寄った手づくりの里山。

そこに地域の人が集いふれあう、まさに地域にうまれた「協働のまちづくり」だと深く感銘を受け、美味しい山菜のてんぷらとタケノコご飯をご馳走になりました。 □■



配布

|     |          |
|-----|----------|
| 大洞  | 4-77     |
| 東山  | 4-50     |
| 北山  | 38-358   |
| モン北 | 5-89     |
| 桜台  | 23-335   |
| 桜市  | 40-295   |
| 柏台  | 31-329   |
| 柏市  | 26-206   |
| 桐丘  | 23-195   |
| 桐市  | 6-42     |
| 紅葉  | 21-268   |
| 紅市  | 16-121   |
| 桜2P | 1-25     |
| 計   | 237/2390 |

## 赤十字奉仕団 楽しく活動しませんか

—大洞支部・玉田 稲子さん

東日本大震災から一年が過ぎました。一日も早く復興できることを願う赤十字奉仕団芥見東分団員のひとりであります。あの震災に対してどれだけの奉仕ができたのか、何かお役にたてたのか、そんな時の赤十字奉仕団の役割は・・・色々と考えさせられました。

地元では年間をとおして岐協苑での奉仕活動、自治会での行事の協力、長良川の清掃、献血、今年は清流国体が開催されますのでお手伝い。そういった奉仕活動を会員が無理をしないよう、助け合って奉仕しております。今後も若い人たちにも呼びかけをして奉仕ができたらと思っております。ぜひ、賛同していただき一緒に楽しく奉仕しませんか。 □■

## 地域に感謝 多くの人に支えられて

—藍川東中学校教頭・西村 宗基先生

4月から藍川東中学校にお世話になっております。本校の生徒は、本当に明るく元気いっぱい、屈託のない笑顔がとても素敵です。それは、ご家庭、地域のみな様のお蔭だと痛感させられます。

例えば、年度初めの膨大な提出物にご協力いただける保護者のみな様。積極的にPTA活動を展開して下さる役員のみな様。地域で子どもたちを育てようとする様々な事を計画し、それを伝えるためにわざわざご来校いただける地域の役員のみな様。数え上げれば枚挙に暇がありません。心から感謝するばかりです。

学校としましても本年度より、教育目標を新たに『仲間と共に誇りをもち、たくましく生きる生徒』としました。

多くの方に支えられながら、この目標を具現すべく学校を中心として、全職員精一杯の努力をしていく所存でおります。よろしく願いいたします。 □■

## ふるさと先生 子ども達と地域との交流

—芥見東小学校教頭・佐藤 美子先生

芥見東小学校では、平成12年度から『ふるさと先生』（地域の方々）に来校していただき、クラブの講師をお願いしています。

その前の年に、地域全体へ『子ども達のために何かできる事をお願いしたい』という内容で公募をしたのがきっかけでした。今年度は、将棋、チェス、紙飛行機、料理、紙工作の5つのクラブをお願いしました。

また、秋の児童会行事『なかよしフェスティバル』でも遊びのコーナーを担当していただく予定です。

本校では、岐阜県の教育週間に早くから地域の人々との関わりを深め、子ども達が地域への誇りと愛着を育むことをねらいとして取り組んできました。 □■

(PTA広報誌32号「あおぞら」に掲載)



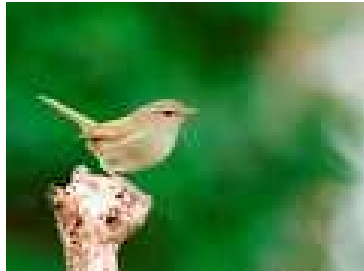
チェスや将棋を教わる子供たち

☆芥見東地区の防災訓練を行います 日時6月10日午前8時30分 避難所は三ヶ所です 詳しくは各戸配布物をご覧ください

**老いに想うこと -お酒を少し頂いて-**

—北山支部長・岡田 尋光さん

早春のピンクベージュの木々も淡い萌黄色に変わり、今はにおい立つ若草色、5月の眩しい光の中で、パーマネントグリーンの世界、芥見の山々、木々は初夏に向かって鮮やかさを競っています。長く寒かった冬も季節はめぐり春、豊かな感性を私たちにプレゼントしてくれています。小鳥たちのさえずりも早朝からチュンチュン、ピーピュルピー、鶯も戻りホーホケキョケキョ、私たちは自然の喜びのうちに、生きています。



さてこの頃はスローな時間をもて、豊かな自然に親しんでいると、いままで気に留めなかった景色に、ハッとする綺麗な色を見つけたり、躍動する木の葉の光り輝く様や、澄み切った透明感のある色に感動することなど多くなっています。皆さんも同様な経験をお持ちの方は多いと思いますが。

私は油絵を少ししたしなみます。絵の具を何度もキャンバスに塗り重ねて、時をまって素敵な味わいのある色に表現できることを覚えました。

これからも、よい色(歳)を重ねて素敵な色合いのある人生を共に送りましょう。

老いに乾杯——喜びに生きる □■

**一石二鳥 今年も緑のカーテンで……**

—芥見東自治会連合会理事・野崎 龍雄

5月に入り、官庁などよりクールビズ宣言され、また、国内の原発が全て停止状態となり、この夏の電力事情が不安定で、より一層の節電が叫ばれています。

各ご家庭では、昨年デジタル化の実施でテレビは液晶テレビに、また照明をLEDに切り換えられるなど、節電に協力されていることと思います。

緑のカーテンは真夏の日中に効果があり、室温が5～10℃低くなるとのこと。昨年は食材にもなるゴーヤが人気でした。今年は朝顔、ヘチマ等新しい物が出てきているようです。我が家も4月にゴーヤと朝顔の種を播き可愛い芽が出てきました。今年も緑のカーテンの効果を楽しんでいます。 □■



写真は野崎家と関係ありません

**癒しの里山 四苦八苦から「寂静」へ**

—大洞支部長・玉田 進さん

私たちが普段よく使う言葉に「四苦八苦」という言葉があります。そのなかの「四苦」は誰でもが持ち合わせています。「八苦」のうちのひとつが「五陰盛苦」人間の肉体的・精神的不安により起きる苦しみです。

支部長の職務について2カ月程になりますが、今の私は身体的にこの職務が務まるのか、不安の日々です。お釈迦様が説かれた「五陰盛苦」真理そのものです。どうしたらこの苦しみの原因を断ち職務の「寂静」に到達できるか、暗中模索しております。

いずれにしても、この職務の「寂静」に到達できるのは来年の3月になるかと思いますが、私なりに頑張っつて務めさせていただこうと思っております。

大洞で生まれ育った私は、小・中学校の頃、山歩きが好きで幼友達とよく近辺の山を駆け巡ったものです。そんな頃より四十数年が経ち、どこの山も雑木が生い茂り、入山さえ出来ない状態になっています。

先日大洞の里山に行ってみたところ、「里山つくり会」の皆さんの努力のおかげで、幼いころの山林に戻っており、腰痛持ちの私にも歩きやすく整備されていました。何十年ぶりに「硯石」も見えました。心身癒されるような里山ですね。



マイカーにて遠方へ出向かなくとも、身近に里山を体験できる大洞地域の私達は幸せだと思えます。 □■

**すわ！地震 練習・確認・備えは十分？**

—桐が丘市営支部・KTさん

今年初めて自治会長になり、何も分からず手探り状態です。皆さんに助けて頂きながら、一年頑張っていきたいと思えます。

先日、震度3ぐらいの地震がありました。食事の用意をしていた時に長女が「地震」と言ったのですが、私は地震に気づかず、ガスを止めることもなく……。テレビの速報を見て反省をしました。

「もし地震が来た時は」と頭では分かっているのですが、実際はすぐに行動に移せないものですね。危機感が足りないんだと反省です。いつ大きな地震が来てもおかしくないといわれ、家庭の中でも練習・確認・備えを確実にしていかなければいけないと思っています。 □■

☆防犯パトロール講習会 日時6月14日(木)午後7時 場所：東部コミュニティセンター